

** 2005年 4月改訂 (第 6版, 薬事法改正等に基づく改訂)

* 2002年 6月改訂

日本標準商品分類番号
873179

貯 法: 錠剤 - 室温保存

顆粒剤 - 遮光・気密容器・室温保存

使用期限: 外箱等に表示 (使用期間 3年)

ビタミンC・パントテン酸カルシウム配合剤

シナール[®]錠200^①
シナール[®]②
Cinal[®]

承認番号	13900AZZ00587	(37A)842
薬価収載	1966年 4月	1959年 10月
販売開始	1966年 9月	1959年 7月
再評価結果	1985年 7月	1985年 7月


 シオノギ製薬

【組成・性状】*

1. 組成

販売名	シナール錠 200	シナール
成分・含量	1錠中 アスコルビン酸 200mg パントテン酸カルシウム 3mg	1g中 アスコルビン酸 200mg パントテン酸カルシウム 3mg
添加物	トウモロコシデンプン, 白糖, カルメロースカルシウム, ヒドロキシプロピルセルロース, ステアリン酸マグネシウム, リボフラビン, 黄色 5号, 黄色三酸化鉄	トウモロコシデンプン, 白糖, リボフラビン, ヒドロキシプロピルセルロース, 黄色三酸化鉄

2. 性状

販売名	シナール錠 200	シナール
性状・剤形	淡黄色の円形の素錠で, においはなく, 味は甘味及び酸味がある。	淡黄色の顆粒で, においはなく, 味は甘味及び酸味がある。
外形		-
大きさ	直径 約 10.0mm 厚さ 約 4.7mm	-
重量	約 0.5g	-
識別コード	㉞ 438 : 200	-

【効能・効果】

本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し, 食事からの摂取が不十分な際の補給 (消耗性疾患, 妊産婦, 授乳婦等), 炎症後の色素沈着

なお, 効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用法・用量】

通常, 成人には 1回 1~ 3錠又は 1~ 3gを 1日 1~ 3回経口投与する。
なお, 年齢, 症状により適宜増減する。

【使用上の注意】*

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

消化器 (頻度不明): 胃不快感, 悪心・嘔吐, 下痢等があらわれることがある。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

(1) 各種の尿検査で, 尿糖の検出を妨害することがある。[アスコルビン酸 (ビタミン C) による。]

(2) 各種の尿試験紙法による尿検査 (潜血, ビリルビン, 亜硝酸塩)・便潜血反応検査で, 偽陰性を呈することがある。[アスコルビン酸 (ビタミン C) による。]¹⁾

3. 適用上の注意

(1) 調剤時

1) アルカリ性薬剤, 吸湿性薬剤との配合は避けること。

2) 配合時の粉碎は避けること。

(2) 薬剤交付時: PTP包装の薬剤は PTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により, 硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し, 更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。)

【薬物動態】

1. 血漿中濃度

健康成人男子 1例にアスコルビン酸 400mg を空腹時単回経口投与したとき, アスコルビン酸の血漿中濃度は投与 1~ 2時間後に 1.6mg/dL 前後の最大値を示し, その後漸減し, 一定濃度となった²⁾。

2. 排泄

健康成人女子 2例にアスコルビン酸 300mg を 1日 1回経口投与したとき, 尿中総アスコルビン酸排泄量は 4時間後に最高値を示し, 9時間目にはほぼ投与前値に復した³⁾。

【薬効薬理】

1. メラニン色素の形成を抑制し, 既成メラニン色素の還元を促進する^{4), 5), 6)}。

2. 結合織の主成分であるコラーゲンの生成と保持に關与する^{7), 8), 9), 10)}。

3. このほか, 生体内の可逆的酸化還元作用に關与する^{10), 11)}。

【有効成分に関する理化学的知見】

1. 一般的名称: アスコルビン酸 (JAN) [日局]

Ascorbic Acid

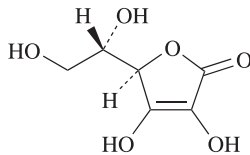
別名: ビタミン C

化学名: 2,3-Didehydro-L-*threo*-hexono-1,4-lactone

分子式: C₆H₈O₆

分子量: 176.12

化学構造式：



性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、酸味がある。

水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

水溶液(1/20)のpHは2.2～2.5である。

融点：約190(分解)

分配係数：0.014[1-オクタノール/水]

2. 一般の名称：パントテン酸カルシウム(JAN)[日局]

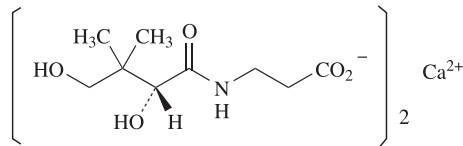
Calcium Pantothenate

化学名：Monocalcium bis{3-[(2*R*)-2,4-dihydroxy-3,3-dimethylbutanoylamino]propanoate}

分子式：C₁₈H₃₂CaN₂O₁₀

分子量：476.53

化学構造式：



性状：白色の粉末で、においはなく、味は苦い。

水に溶けやすく、エタノール(95)に極めて溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

水溶液(1/20)のpHは7.0～9.0である。

吸湿性である。

融点：195～196(分解)

【包装】

シナール錠 200：PTP100錠(10錠×10)、PTP1200錠(10錠×120)

シナール：アルミ袋 1kg(250g×4)、SP105g(1g×105包)、SP2.1kg(1g×2100包)

【主要文献及び文献請求先】*

[文献請求番号]

- 1) 伊藤機一ほか：臨床と薬物治療，11(2)，202(1992) [199200207]
- 2) 高橋徹三ほか：ビタミン，14(6)，740(1958) [195800058]
- 3) 照内淳也ほか：ビタミン，16(1)，1(1959) [195900107]
- 4) Rothman, S. : J. Invest. Dermatol. , 5, 61(1942) [194200002]
- 5) 藤浪得二ほか：皮膚，5(3)，211(1963) [196300048]
- 6) 田多井恭子ほか：治療，46(7)，1315(1964) [196400083]
- 7) Robertson, W. B. : Ann. N. Y. Acad. Sci. , 92, 159(1961) [196100109]
- 8) 藤田和典：皮膚と泌尿，26(4)，570(1964) [196400082]
- 9) 梶原章：最新医学，17(6)，1429(1962) [196200074]
- 10) 佐川禎昭ほか：基礎と臨床，11(1)，343(1977) [197700591]
- 11) 香川靖雄：ビタミン学の進歩 第6集，pp.49-61，日本ビタミン学会，京都(1963)

塩野義製薬株式会社 医薬情報センター

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号

電話 0120-956-734

FAX (06)6202-1541

http://www.shionogi.co.jp/med/

製造販売元**

塩野義製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号

